

# 2020年度 看護統合実習

単位 必修2単位

## 履修条件

3年次学外実習科目単位をすべて取得しておく。

特例措置として未履修実習科目が1科目2単位以内の場合は履修することができる。

※ 2015年度入学生以前は入学年度の学生便覧に従う。

## 位置づけ

看護統合実習は、各領域の実習を履修したのちの最終の臨床実習であり、主体的な実習姿勢が求められる。これまでの実習で修得した知識・技術・態度を活用し、より高い看護実践能力を養うために、組織の概要、看護職と多職種との役割と連携の実際を理解し、複数の対象者への看護実践を通してチームケアの実際を学ぶ。

## 実習目的

1. 組織の機能を知り多組織・多職種との連携とチームケアの実際を学び看護の役割を理解する。
2. チームの中で複数の対象者・家族への看護を実践する。
3. 自己の看護観と今後の課題を明確にする。

## 実習目標

各領域でその専門性や場の特徴を踏まえた目標を展開する。

学習内容：組織の概要理解、看護チームの役割、複数の対象者のケアのマネジメント、リスクマネジメント、ヒューマンエラー防止、シームレスケア、リーダーシップ・メンバーシップ、専門職としての倫理的行動

## 実習期間および実習時間

実習期間：2020年 6月 29日（月）～ 7月10日（金）

実習時間：原則8時30分～16時(実習施設により異なる)

## 実習施設および学生配置

実習施設一覧表参照

## 実習方法

1. 臨地実習日は、6日以上とする。
2. 学生は各領域の実習目標・実習計画に沿って実習を行う。
3. カンファレンスは原則毎日30分行い翌日の実習につなげる。最終カンファレンスは、臨地指導者・教員を交えて行う。
4. 最後の2日間は学内でまとめを行う。2日目は全領域での学びの共有を行うために発表会を行う。

## 実習記録

所定の記録様式に従って記録する。

## 評価方法

実習評価表に基づき、評価をする。評価点の60点以上を合格とし、科目責任者が単位を認定する。